



国際親善総合病院

病院だより

NO. 243
Summer
2015. 7

特集 早期離床・早期回復を目指して
～チームで取り組むリハビリテーション～

再整備計画について④

救急医療への取り組み

管理栄養士の シリーズ第5回
メディカルレシピ
ヘルシーメニュー

momoko's Report(')/
新人 看護師に密着

病院のできごと

春 夏 秋 冬

病院の理念

良質な医療の実施

親切的医療の実施

信頼される医療の実施

フルネーム確認にご協力をお願いします

病院では一度に多くの患者さんの診療にあたりますが、中には同じ名字や同姓同名の患者さんがいらっしゃる場合があります。私たち職員は日常より患者さん間違いが起きないように業務手順の工夫や職員間で情報共有するなどの注意に加えて、患者さんにもご協力をお願いしています。外来診療では採血や注射薬の投与などの前にはフルネームと生年月日を伺い間違いがないか確認しています。また入院ではフルネーム確認とバーコード認証システムを利用した照合により確認をしています。何度も名前確認をお願いしてご面倒おかけしますが、安全性の高い医療を提供するためですので、ご理解・ご協力をお願いします。

HOME PAGE



横浜市消防局泉消防署との意見交換会

平成27年6月1日(月)開催



平成18年より毎年、年に1～2回、泉消防署と当院の病院長・副院長・看護部長をはじめ救急に関連するメンバーとで意見交換会を行い地域の皆さまの尊い命を守るべく連携を図っています。

る「日本救急医学会・救急科専門医指定施設」のひとつです。このように当院は民間病院でありながら公的色彩が強く、消防署との意見交換会や合同勉強会を開催するなど、



はじめまして、4月から救急部の専属医として赴任しました吉田と申します。私は実家が希望ヶ丘で、小学生のころ、このあたりに縄文土器を掘りに来た記憶があります。救急車の話ですが、人口15万4千の泉区には、泉救急



救急部長

吉田 哲
よし だ あきら

プロフィール

略歴

昭和50年 神奈川県立希望ヶ丘高校卒業
昭和56年 広島大学医学部・医学科卒業
昭和61年 中国労災病院 救急部（広島県呉市）
広島大学医学部臨床教授（救急医学）
平成18年 手稲溪仁会病院 救命センター救急部
主任医長（札幌市）
平成27年 4月から現職

資格

日本救急医学会 救急科専門医ならびに指導医
JATECプロバイダー

◎患者さん、一般の方へのメッセージとお願い

救急外来では、患者さんの状態をトリアージ（重症度・緊急度に従って優先順位を判断）します。診察の順番が変わることにより、お待たせする場合があります。

◎かかりつけ医の先生へのメッセージとお願い

かかりつけ医の先生からの電話は、救急医が対応します。また、救急外来は混み合う場面が多々ありますので、受診前に電話にてご一報いただくと幸いです。

地域における救急医療の向上を目指して努力を続けております。私が専門とする「救急科」は横断的な診療科で、たとえば血液透析中の高齢者が胸痛しさを訴えて転倒し、頭と鼻から血を流して手首が変形している、脇腹も打撲しているという場合、縦割りの診療体制なら透析科、循環器科、脳外科、耳鼻科、整形外科、外科を呼ばなければなりません。が、これらを一括して初期対応し、問題点を絞り込んで必

要な専門科に引き継ぐのが救急科です。そのためには、看護、放射線、検査、薬剤、リハビリ、事務など、すべての部門の助けを借りなければなりません。現在、当院の救急医療の柱は、心筋梗塞などの心疾患、脳卒中、内視鏡処置や外科手術の対象となる腹部・泌尿器科疾患、それに整形外科的外傷ですが、今後は更に守備範囲を広げ、もしもの災害にも対応できる体制を整えて行きたいと思っています。



血糖の結果について一緒に確認し、お話しさせていただきました。

血圧・血糖測定のと気になっていることを看護師に相談！

血糖測定後に栄養士より食事の指導を行いました。

国際親善総合病院

再整備計画について④

【今後の予定】

7月	1～31日	内装・外構工事仕上げ
8月	1～7日	内装・外構工事仕上げ
	8日	完 成
	8～31日	諸検査・引っ越し
9月		新館棟オープン

【お知らせ】

新館棟完成後、現在本館の地下1階にあります食堂と売店、また2階の管理棟にあります講堂が新館棟へ移設となります。食堂・売店共に9月リニューアルオープンする予定です。詳細につきましては院内の掲示板などでご案内させていただきます。

食堂



売店



救急医療への取り組み

Emergency

早期離床・早期回復を目指して

～チームで取り組むリハビリテーション～

リハビリテーション科 岩上 伸一

当院の特色

当院のリハビリテーション科は理学療法士8名と作業療法士3名、事務兼助手1名の計12名のスタッフからなり、急性期病院の治療の一助として発症・受傷・術後の早期よりリハビリ介入しています。医師や看護師の協力のもと積極的な離床を行い、合併症・廃用症候群の予防に努め、人工呼吸器・心電図モニターなどが装着された状態や各種ドレーン・点滴類がついている中でもリスク管理に注意しながらリハビリを行っています。

また整形外科疾患については手術前から介入することで手術後の患者さんがスムーズに回復できるように努めています。

対象となる患者さんは整形外科、神経内科、脳神経外科を中心として循環器内科、消化器内科、腎臓・高血圧内科、呼吸器



理学療法のような

をしていきます。また必要な患者さんには温熱や超音波などの物理療法やセラピストによる徒手療法などを用いて痛みの軽減や緊張の緩和も図っています。

作業療法

手の外傷や上肢、手指の機能障害のリハビリテーションの提供を中心に、食事・更衣・入浴・排泄・家事動作などの日常生活動作が困難になった方に対して、生活に必要な動作能力の再獲得に向けてお手伝いしています。また高次脳機能障害症状に対する社会生活適応能力の獲得や職業復帰に向けての技術習得などの訓練も行っています。



作業療法のような

人と人が描き出す未来

内科、呼吸器外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科などほぼ全診療科からリハビリの依頼を受け医師の指示の下で理学療法、作業療法を実施しています。

外来でのリハビリについては主に早期退院した整形外科手術後の患者さんと保存療法の外傷・慢性疾患などの患者さんを中心に行っています。



リハビリテーション科スタッフ

カンファレンスのようす

チーム医療

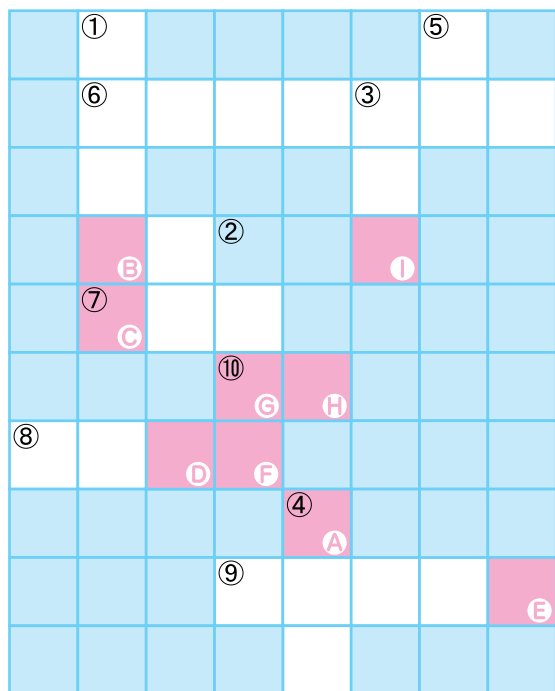
私たちリハビリテーション科のスタッフは、医師や看護師をはじめ医療ソーシャルワーカー、地域医療連携室の看護師などの医療従事者が連携し、それぞれの専門性を活かすことで、患者さんやそのご家族にとってよりよい治療やケアを行うためチームで医療に取り組んでいます。

このようなチーム医療を実践する上で、スタッフ間での情報の共有を図るために様々なカンファレンスを開催し、早期退院や在宅復帰ができるよう患者さんやそのご家族ともコミュニケーションを図り、できる限りご自宅での様子等を把握し、退院後少しでもスムーズにお過ごしいただけるようサポートしています。



リハビリテーション室のようす

感染クロスワード



タテのカギ

- ①水ぼうそうと同じウイルスの感染症です。
 ○○○○○○疱疹
 ②○○○○○はヒゼンダニというダニの一種が原因です
 ③アフリカ地域で流行している感染症は○○○出血熱
 ④○○○病は医学的には伝染性紅斑と言います。
 ⑤感染症を英語でいうと○○フェクション

①タインツウ(帯状)②カメセン(疥癬)③エボラ④レプトスピ⑤イン

ヨコのカギ

- ⑥冬場に流行する感染症は○○○○○○○○
 (ヒント: イから始まります)
 ⑦家に帰ったら○○○をしましょう
 ⑧妊婦がかかると怖い感染症は○○○○
 (ヒント: フから始まります)
 ⑨昨年日本で発生した
 蚊が媒介する感染症は○○○○○○
 ⑩STDを日本語でいうと○○感染症

⑥インフル⑦靴下⑧トキソプラズマ⑨デング熱⑩クラミジア⑪ヘルペス⑫梅毒⑬HIV⑭エイズ⑮結核⑯麻疹⑰水痘⑱風疹⑲百日咳⑳破傷風㉑狂犬病㉒炭疽㉓細菌性食中毒㉔真菌性皮膚病㉕アレルギー性皮膚炎㉖接触性皮膚炎㉗日光過敏症㉘凍瘡㉙火傷㉚熱中症㉛低体温症㉜脱水症㉝低血糖症㉞高血糖症㉟高血圧症㊱糖尿病㊲脂質異常症㊳動脈硬化症㊴脳血管障害㊵心臓病㊶がん㊷感染症

病院の理念

A	B	C	D	E
D	F	G	E	
D	F	I	H	

な医療の実施

な医療の実施

される医療の実施

解答は表紙

病院のできごと 4月~6月

春 夏 秋 冬

4月1日(水) 新入職員を迎えました

入 職 式



穏やかな気候に恵まれ、弥生台駅の桜が満開な日に今年度は、39名の新入職員を迎え入職式が行われました。

新しい仲間と共に地域の医療に貢献できるようこれからも努めて参ります。



4月27日(月) 園児からのプレゼント

手作りこいのぼり

はなみずき保育園(院内保育園)の園児たちが、こどもの日の行事として画用紙や折り紙で上手に作成したこいのぼりを届けに来てくれました。



5月14日(木) 中川地区センターにて

第12回 しんぜん院外健康教室

腎臓・高血圧内科部長 酒井政司医師による「健康寿命について」の講演会を開催。108名の方にご参加いただき、「健康寿命を長く生きられるよう日常生活を改善し日々を過ごしたい」「分かりやすく面白い内容だった」等のご感想をいただきました。



6月1・15日(月) とっさの時に役立つ知識

横浜市泉区応急処置講習会



平成12年度から毎年、看護週間行事に合わせて横浜市泉区福祉保健センターとの共催にて泉区の保健活動推進員の方々を対象に今年も応急処置講習会を開催しました。



日本医療機能評価機構



ECO 活動推進



敷地内全面禁煙

